

ポートアイランド・リボーン シンポジウム
基調講演 投影資料

ポートアイランドの近未来を 近過去から考える

2023.3.13

東京藝術大学

藤村龍至



Image by Google, Tokyo University of the Arts, Future Laboratory

令和5年 3月13日[月] 13:15 — 15:30 [12:45開場]

神戸国際会議場 国際会議室301 | 神戸市中央区港島中町6-9-1

[参加] 会場・オンライン併用 [定員] 会場=100名程度、オンライン=100名程度 | ●いずれも先着順 | 参加費無料

[お申込み] 令和5年3月10日[金]12:00までにURL・QRコードからお申込みください | <https://forms.office.com/r/N0J91u1W9H>

[主催] 神戸市 [連絡先] 神戸市企画調整局 未来都市推進課 TEL=078-322-5245



Image by Image Landsat / Copernicus Data EO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO Data Japan Hydrographic Association, Tokyo University of the Arts, Future Laboratory

ポート
アイランドの
リポーンに向けて
3月13日に
シンポジウムを
開催します

[日時]
令和5年3月13日[月]
13:15-15:30 | 12:45開場
[場所]
神戸国際会議場
国際会議室301
神戸市中央区港島中町6-9-1



[参加]
会場・オンライン併用
[定員]
会場=100名程度
オンライン=100名程度
●いずれも先着順 | 参加費無料

[お申込み]
令和5年3月10日[金]
12:00までに
URL・QRコードから
お申込みください
<https://forms.office.com/r/N0J91u1W9H>



[主催]
神戸市
[連絡先]
神戸市企画調整局
未来都市推進課
TEL = 078-322-5245

ポート
アイランドの
リポーンに向けて
3月13日に
シンポジウムを
開催します

[プログラム]
基調講演
ポートアイランドの近未来を
近過去から考える——藤村龍至氏

**パネル
ディスカッション**
神戸市からの報告、登壇者によるディスカッション、
参加者との意見交換

[登壇者]

藤村龍至

東京藝術大学美術学部建築科 准教授
RFA 主宰



小林郁雄

都市計画
まちづくりプランナー



小浦久子

神戸芸術工科大学
環境デザイン工学科 教授



津川恵理

ALTEMY代表
サンキタ広場デザイナー



山下裕子

全国まちなか広場研究会理事
エリアマネジメントアドバイザー



研究代表者・藤村の活動

大都市郊外ニュータウンの活性化に継続的に取り組む

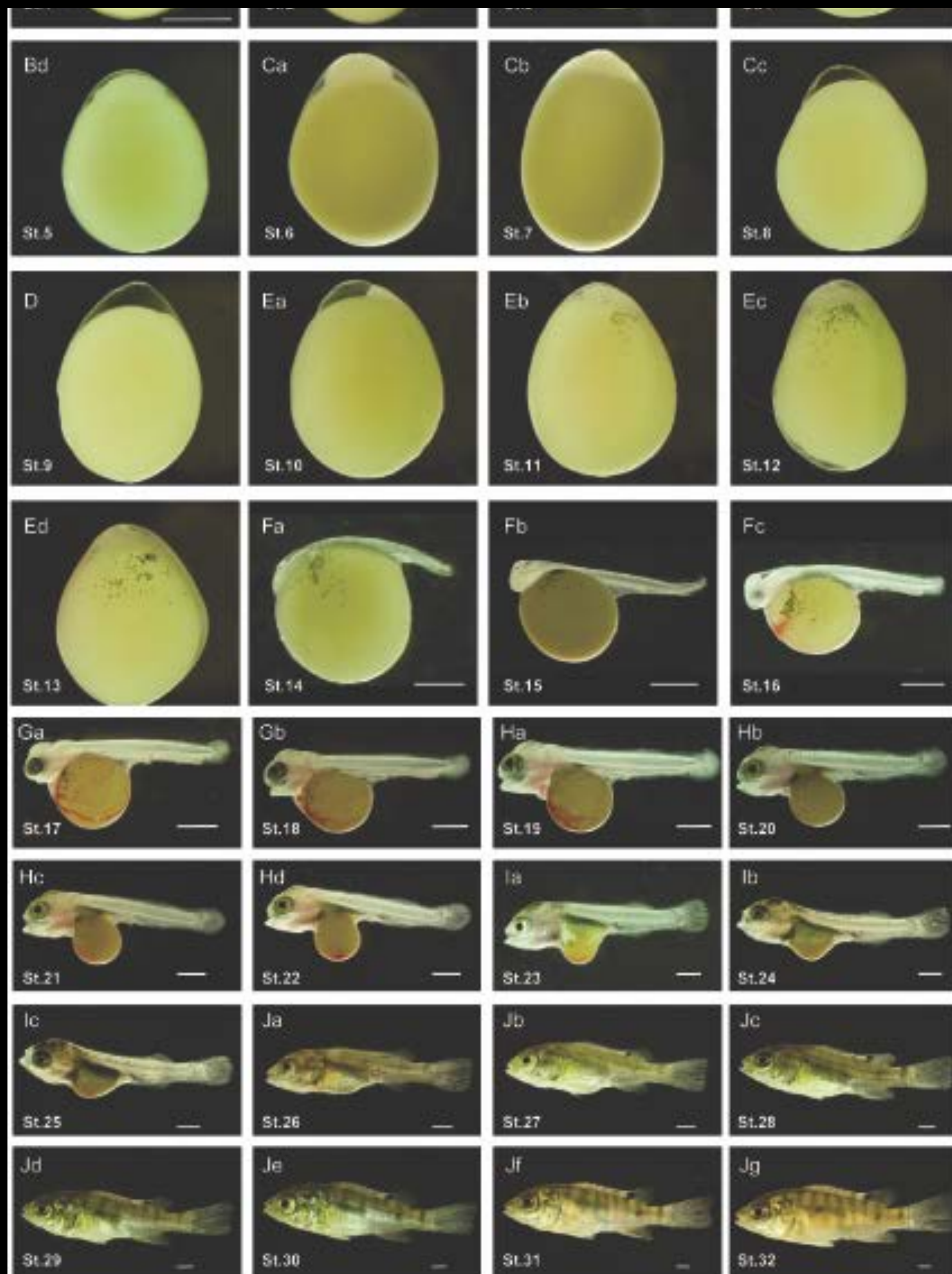
シンポジウムやワークショップによる世論形成・公有地の利活用など



研究代表者・藤村の活動

オープンな設計プロセスにより「曖昧な像を少しずつ鮮明にする」方法論

独自の設計方法論「超線形設計プロセス論」の教育や公共への応用

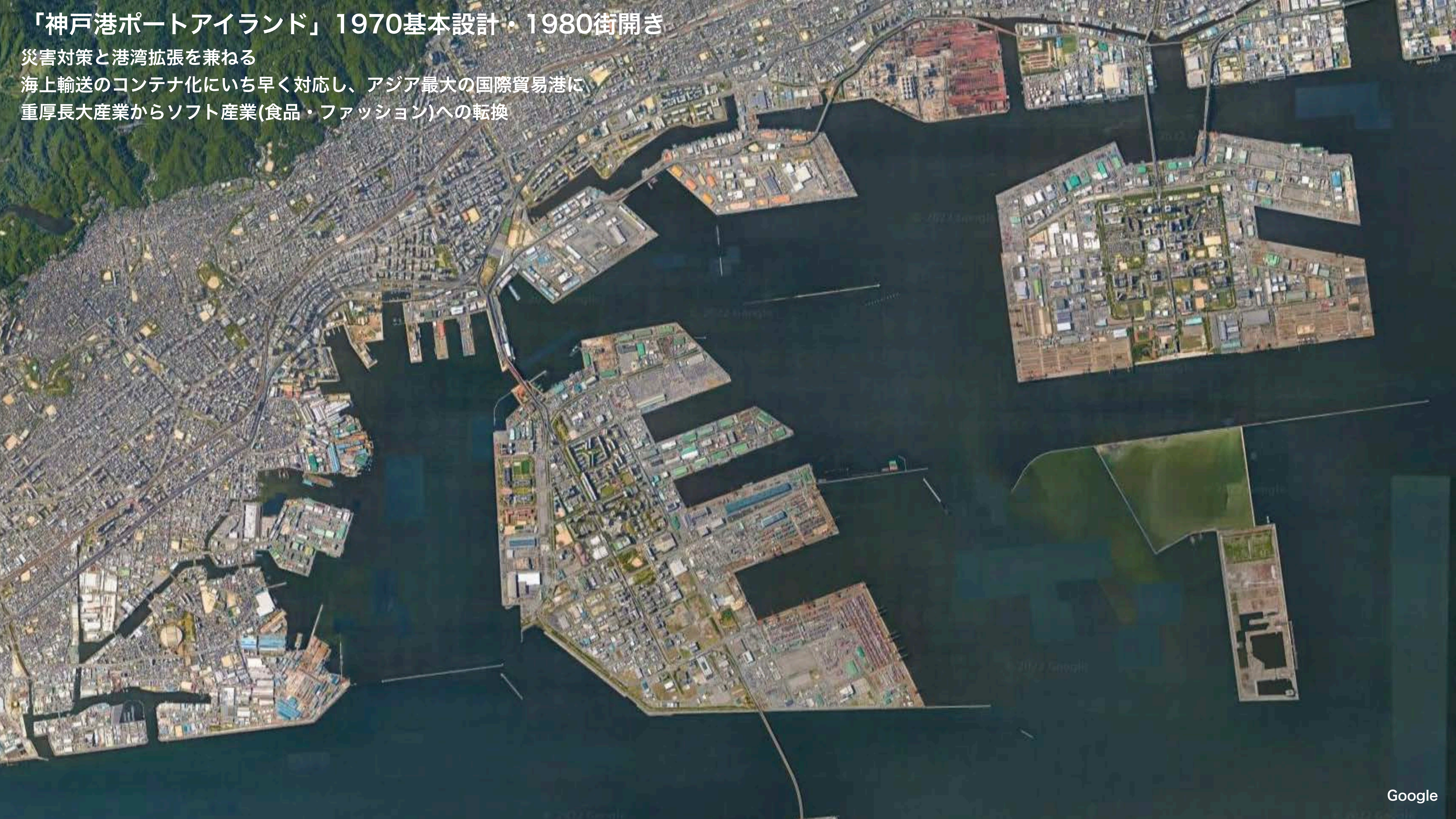


「神戸港ポートアイランド」1970基本設計・1980街開き

災害対策と港湾拡張を兼ねる

海上輸送のコンテナ化にいち早く対応し、アジア最大の国際貿易港に

重厚長大産業からソフト産業(食品・ファッション)への転換









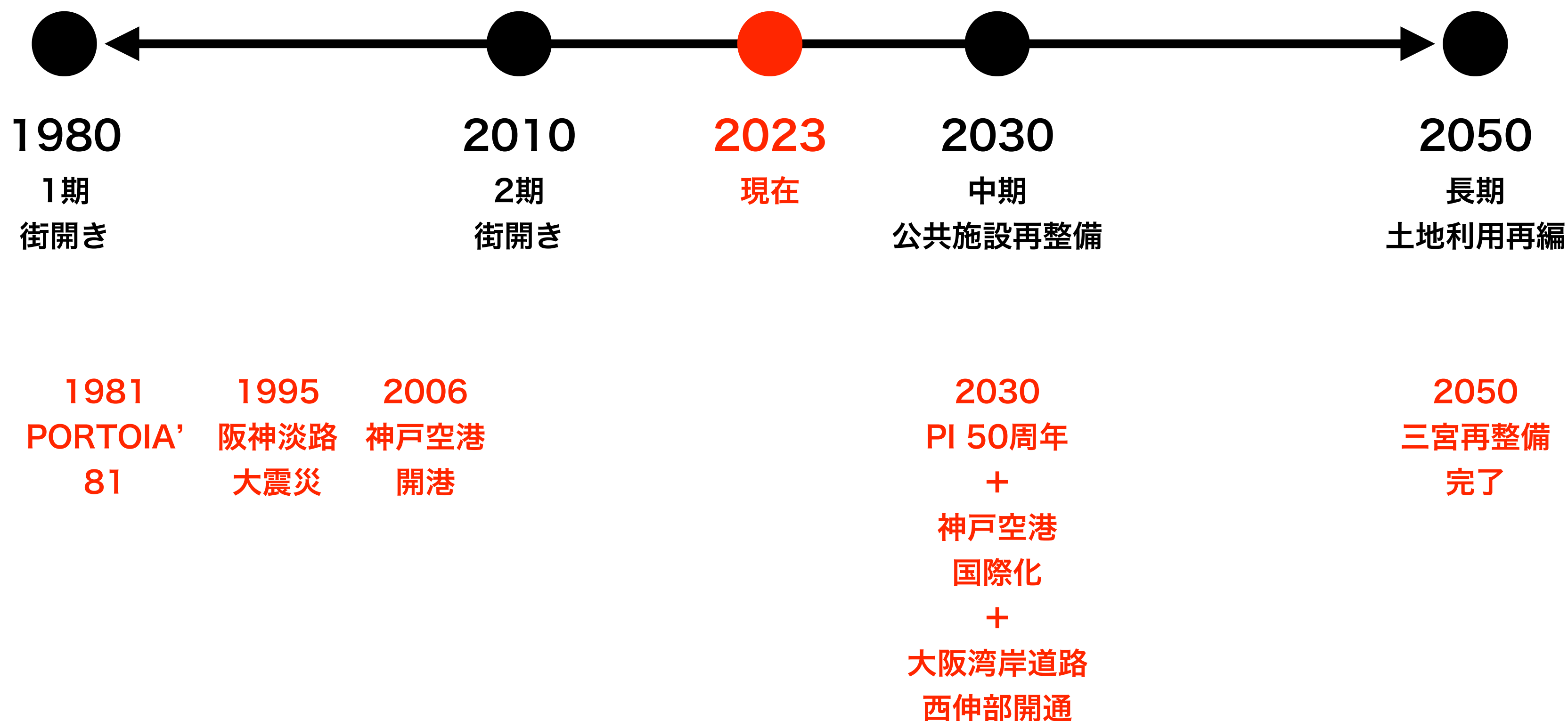




ポートアイランドの近未来を近過去から考える

- ・PIの基本設計時(1971)の議論の経緯をたどり、PIの都市空間の設計思想を明らかにする
- ・この50年で変化した周辺の文脈は何かを明らかにし、不適合を取り除く
- ・特に港湾の機能・産業の転換・国土全体からみたときの神戸市の立ち位置の変化に着目

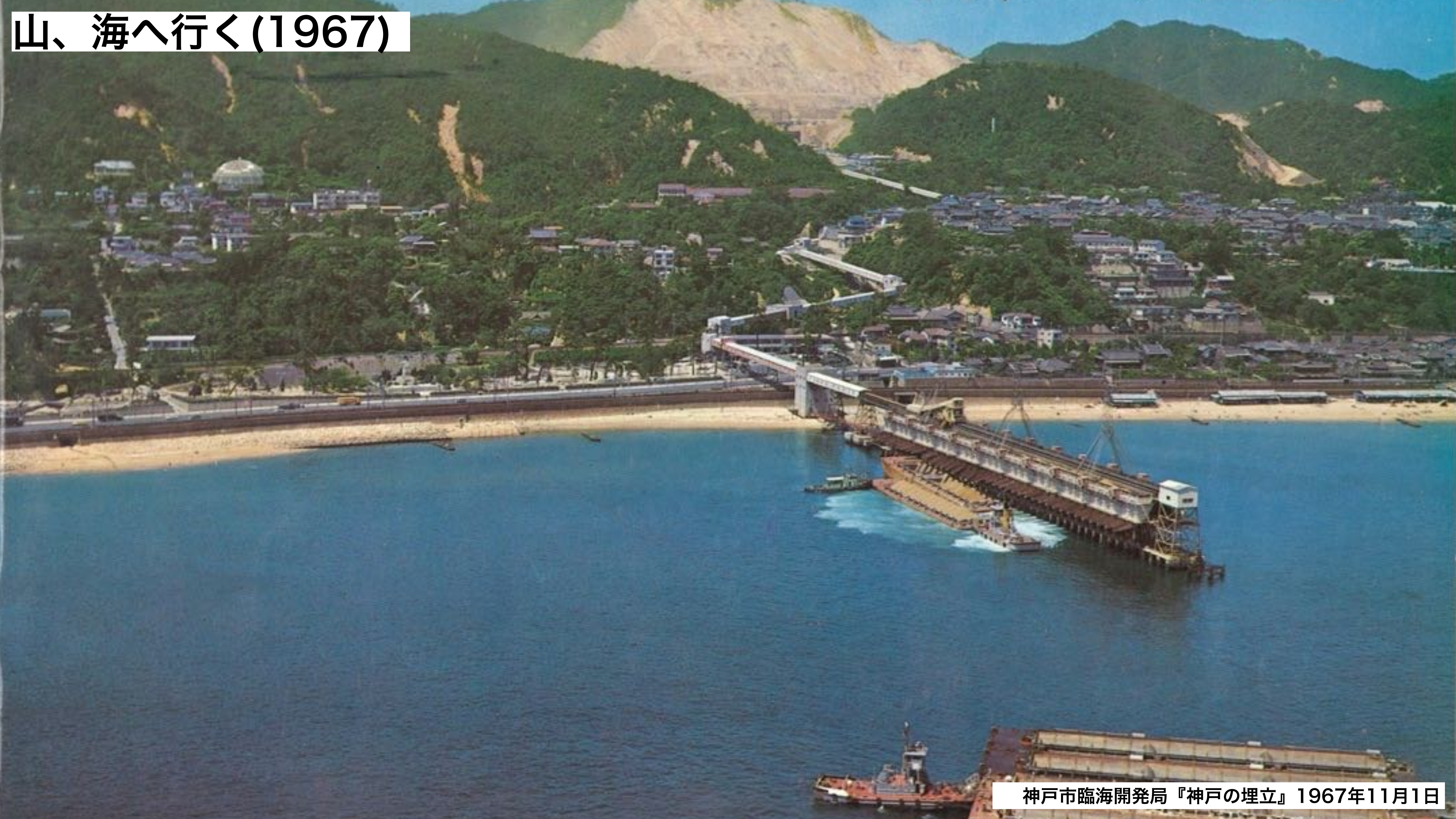
近過去を振り返り、近未来を描く



1

近過去を振り返る

山、海へ行く(1967)



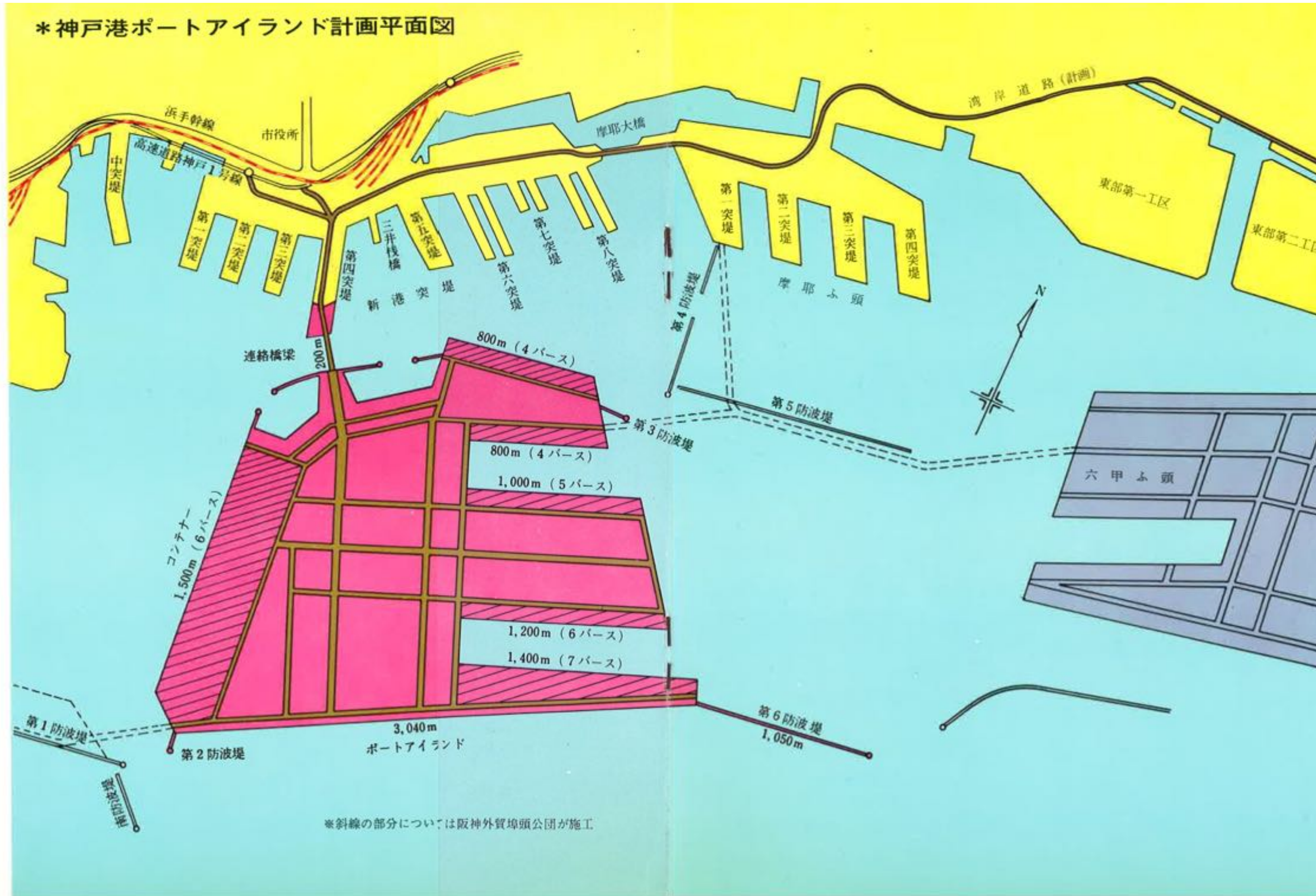
山、海へ行く(1967)

ポード埋立計画

第2期計画として、ポードアイランド埋立。これは国の港湾整備5ヶ年計画にも5ヶ年計画で施行されているポードアイランド埋立として外郭の港湾施設の建設と並行して土地埋立です。

296万m² (約90万坪)*
 約270億円 (含付帯工事費)
 水深 -1.2m
 水深 +3.8m
 41年度～48年度

全体面積は425万m²でうち129万m²は阪神外貿ふ頭埋立する計画です。



ポードアイランド利用計画

本計画により造成された用地は港湾機能の都市再開発を図るために次のような土地利用計画が示されています。

- 商業用地…港湾関連業、倉庫、運輸、貿易関連する諸種の企業、諸施設、センター、ショッピングセンター
- 工業用地…港湾、貿易に関連の深い加工工場
- その他…船員、港湾就業者等の宿泊施設、用地、公園、緑地等

山、海へ行く(1967)



埋立計画のあらまし

住宅団地の開発について

神戸港の港湾区域内に、総工費 396億円をもって、東・西529万 m^2 の水面を埋立て、臨海工業用地を造成するものであります。

このうち、**東部海面埋立地**は、灘区都賀川尻から、東灘区傍示川（神戸～芦屋市境界）尻まで、約7kmの地先水面に、工費 316億円で、第1工区から第4工区まで425万 m^2 の土地を、昭和28年度着工、昭和45年度完成の予定で工事中であります。

また、**西部海面埋立地**は、須磨区妙法寺川尻から、兵庫区和田岬までの約5kmを、第1工区から第3工区までにわけ、104万 m^2 を、工費80億円、昭和32年度着工、埋立工事は昭和40年度に完成いたしました。

- 凡 例
- 臨海工業地帯計画区域
 - 同 完 成 区 域
 - ポートアイランド
 - 住宅経営計画区域

海と山とはさまれて、東西に細長くのびた神戸の街の地形を、最大限に利用したのが、全国でも珍しい神戸の埋立工事であり、また宅地開発工事でもあります。

本市の埋立事業の特性を端的に現わしたのが、“山、海へ行く”というキャッチフレーズです。東では、渦森、鶴甲山、西では、高尾山(土取完了)、須磨の市街地背後の4ヶ所の山を削った土砂で、海を埋立てると共に、土をとった後には、住宅団地を造成するという一石二鳥の計画です。住宅団地開発の総工費は 485億円で、近代的な公園を持つ190.8万 m^2 の住宅地ができ、約 7,800戸の住宅が、昭和48年度末までに建設される予定です。

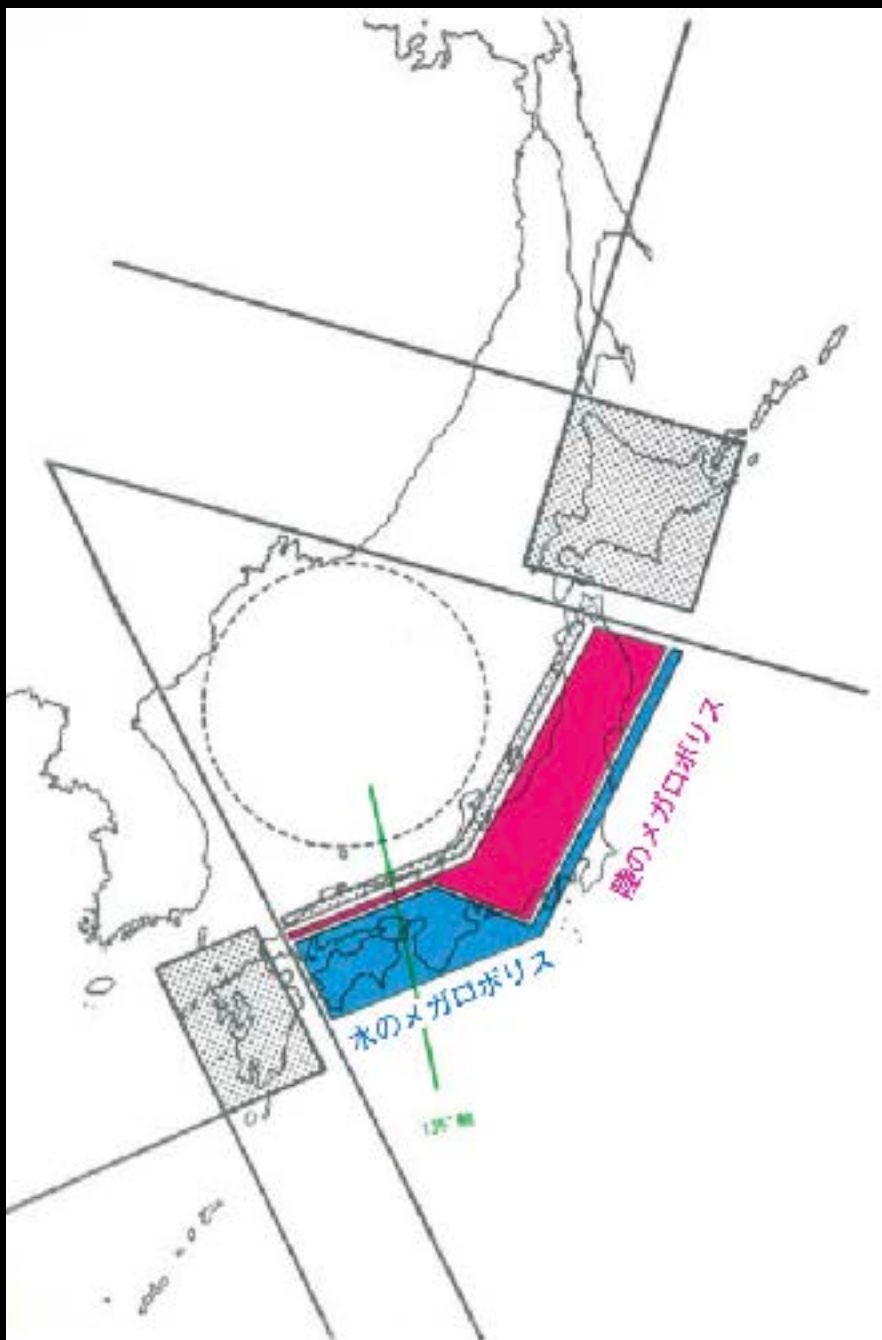
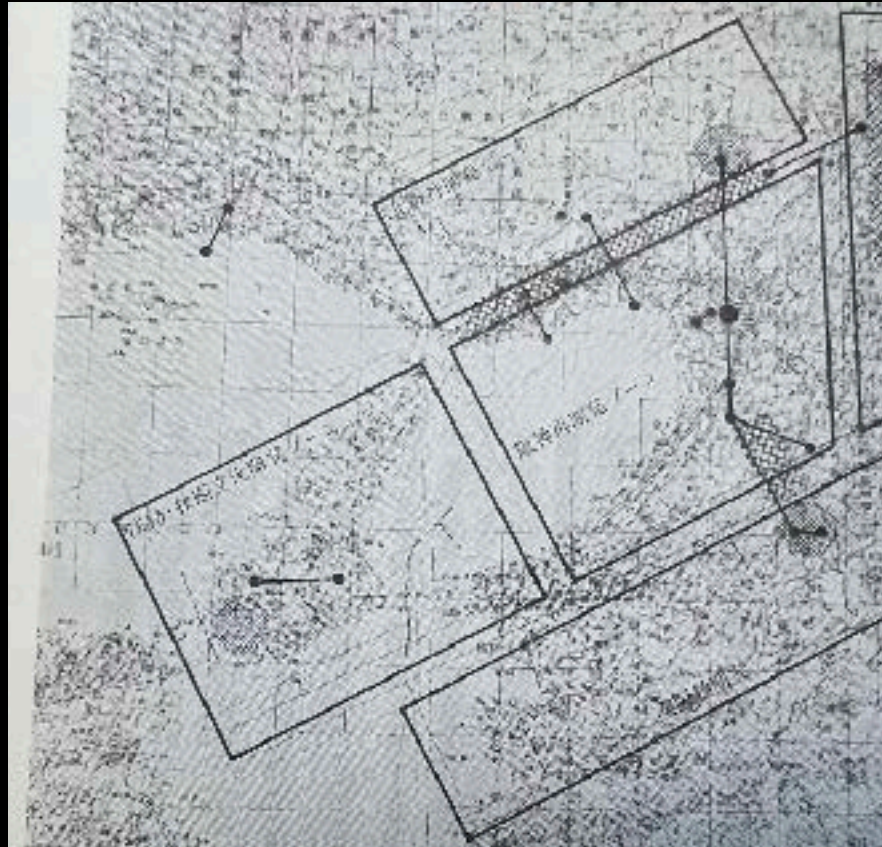
原口忠次郎(1889-1976)

- ・ 第12代(1949-1969)神戸市長
- ・ ポートアイランド・西神ニュータウン開発を構想
- ・ 神戸高速鉄道・さんちか・ポートタワーなど実施

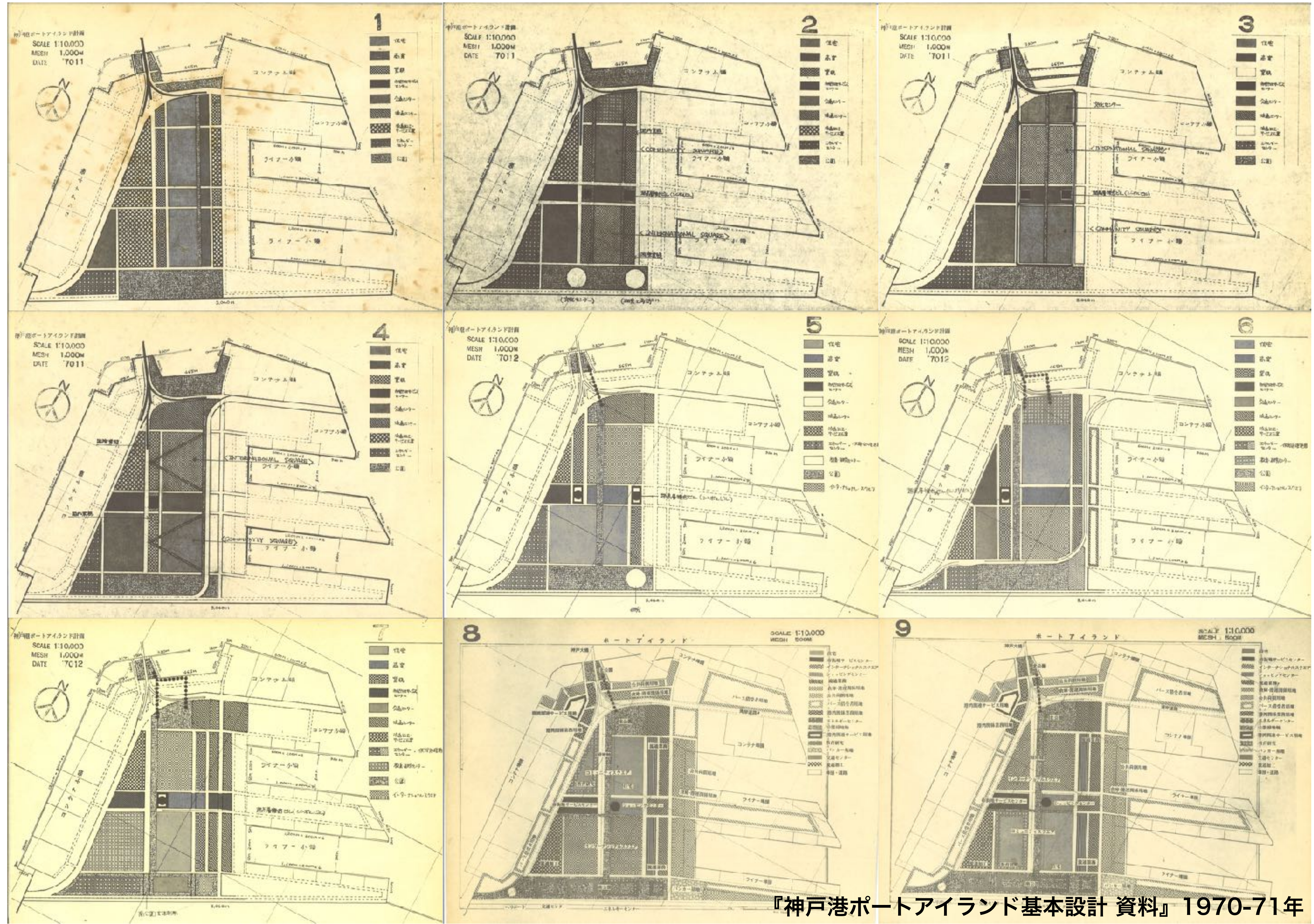


水谷 颯介(1935-1993)

- ・都市計画家として「ポートアイランド基本設計」に参画
- ・その後「チームUR(ウル)」として神戸市の都市行政に深く関わる
- ・都市計画とまちづくりをつなぐ「街場の建築家」の草分け



ポートアイランド基本設計(1970)のプロセス



ポートアイランド基本設計(1970)での議論

宮崎市長

- 神戸市の総力を結集して**一つの実験ともいえる21世紀の港湾都市**を建設したい
- 北側にも**市街地が見える公園**をつくってみたい

神戸港ポートアイランド基本設計委員会「第一回委員会議事録」1970年9月22日

宮崎市長

- **都市軸**は真っ直ぐ
- **エクステンション**のことも考えておいた方がいいんじゃないか
- **住宅を北側**に持ってきた方がいい
- 立体的にして**空中公園**を

神戸港ポートアイランド基本設計委員会「第五回委員会議事録」1970年12月17日

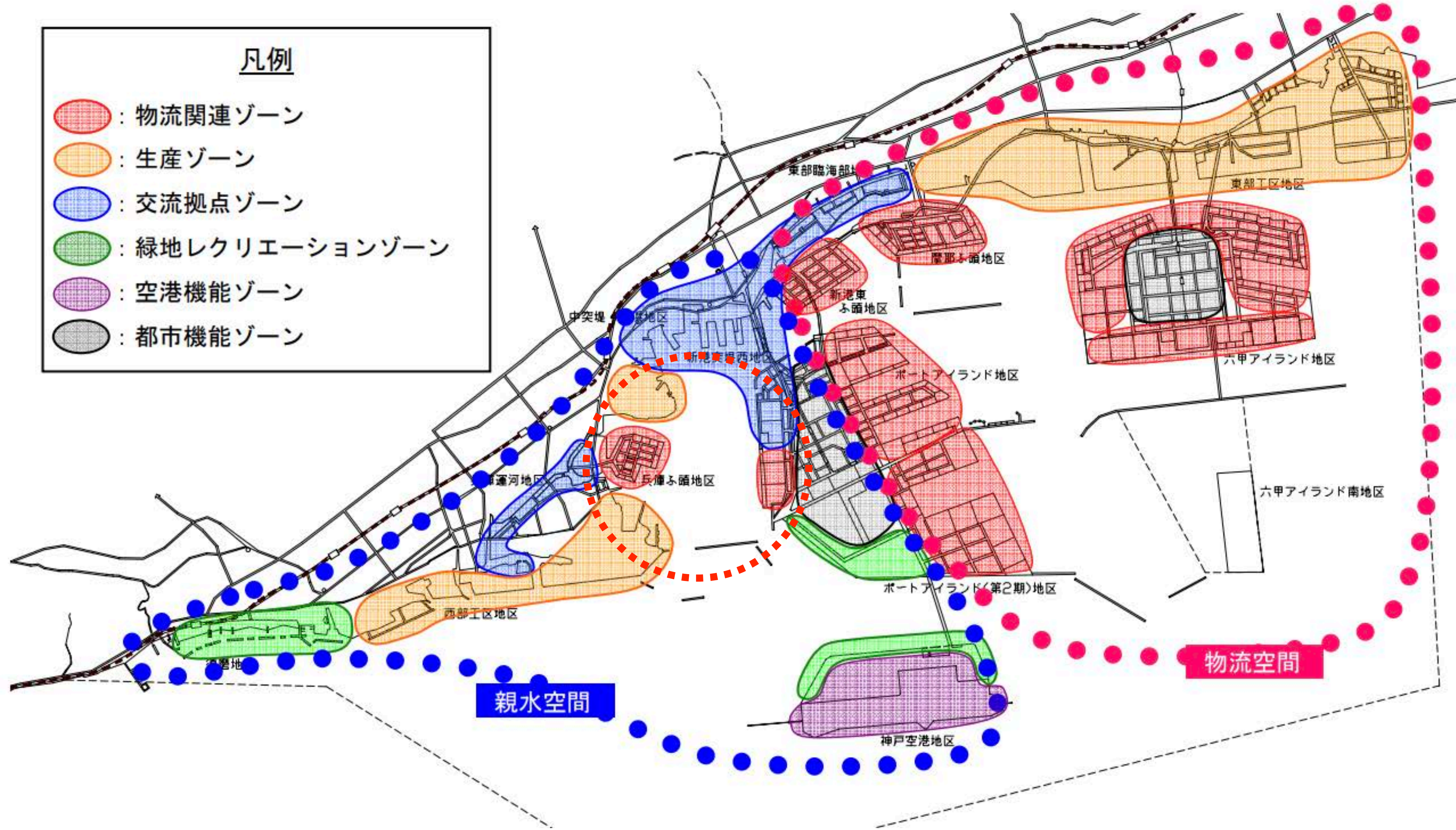
2

近過去からみた現在

神戸港港湾計画

港湾局 H18・2006

西側を「親水空間」、東側を「物流空間」と位置付け

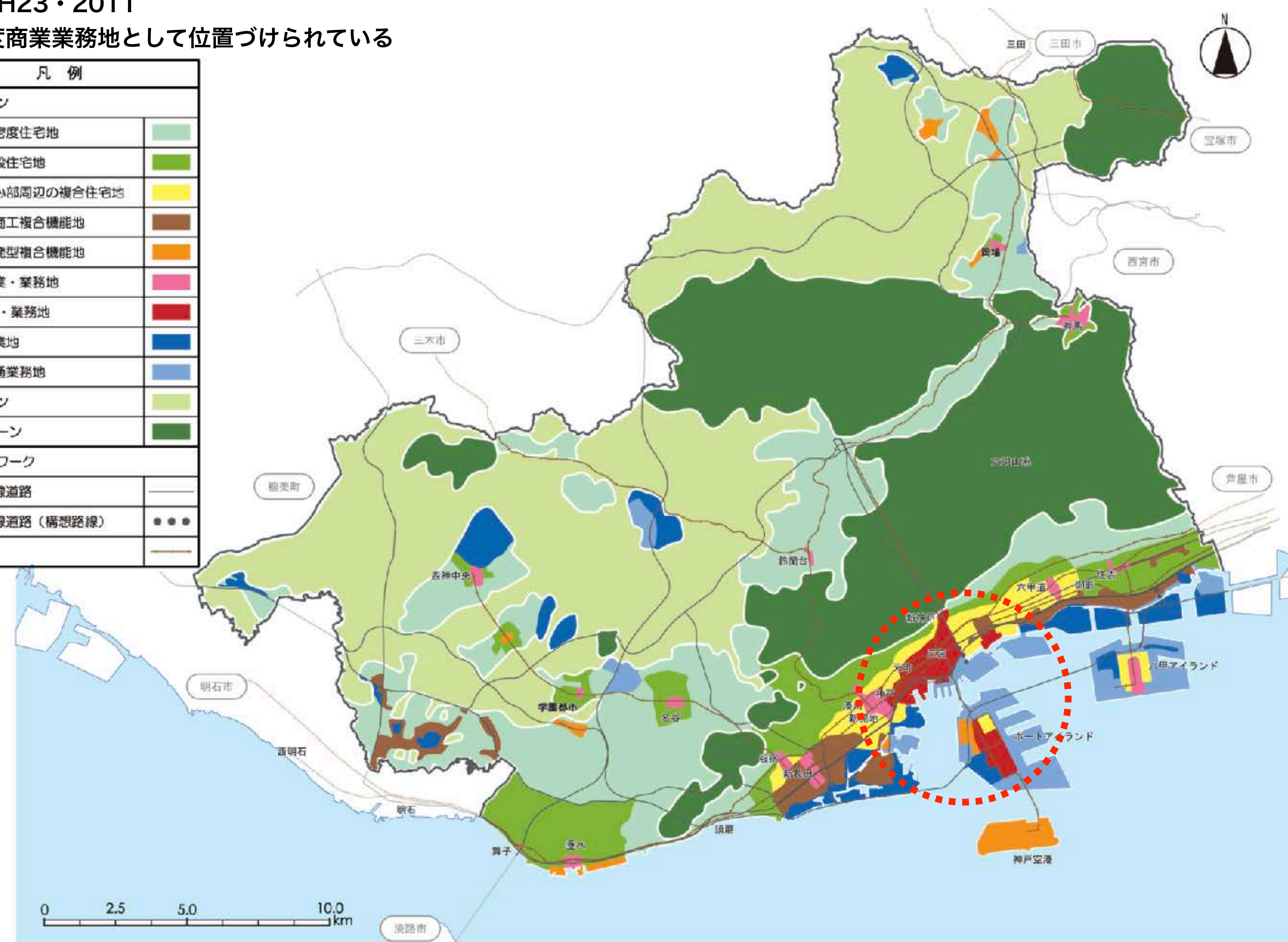


神戸市都市計画マスタープラン「土地利用方針図」

都市局 H23・2011

PI=高度商業業務地として位置づけられている

凡例		
まちのゾーン		
住宅地	低密度住宅地	
	一般住宅地	
複合機能地	都心部周辺の複合住宅地	
	住商工複合機能地	
	開発型複合機能地	
	商業・業務地	
高度商業・業務地		
工業・流通業務地	工業地	
	流通業務地	
田園のゾーン		
みどりのゾーン		
交通ネットワーク		
広域圏幹線道路		
広域圏幹線道路（構想路線）		
鉄道		



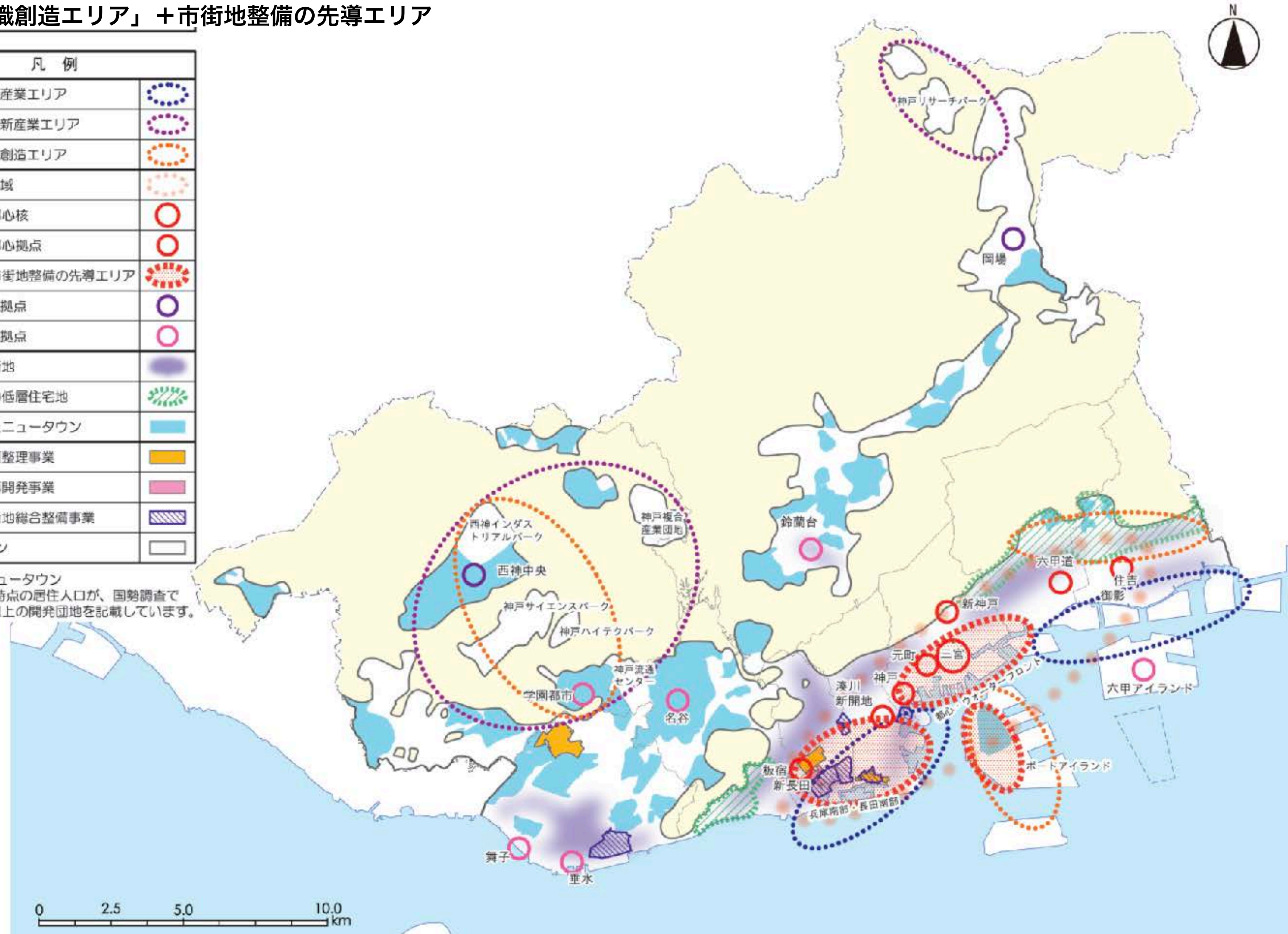
神戸市都市計画マスタープラン「市街地・住環境整備方針図」

都市局 H23・2011

PI=「知識創造エリア」+市街地整備の先導エリア

凡 例		
市街地整備関連	産業エリア	
	臨海産業エリア	
	内陸新産業エリア	
交流・融合の空間	知識創造エリア	
	都心域	
	都心核	
	都心拠点	
	市街地整備の先導エリア	
	連携拠点	
	地域拠点	
住環境整備関連	密集市街地	
	山麓部の低層住宅地	
	成熟したニュータウン	
施行中地区	土地区画整理事業	
	市街地再開発事業	
	住宅市街地総合整備事業	
まちのゾーン		

※成熟したニュータウン
昭和60年時点の居住人口が、国勢調査で
1,000人以上の開発団地を記載しています。



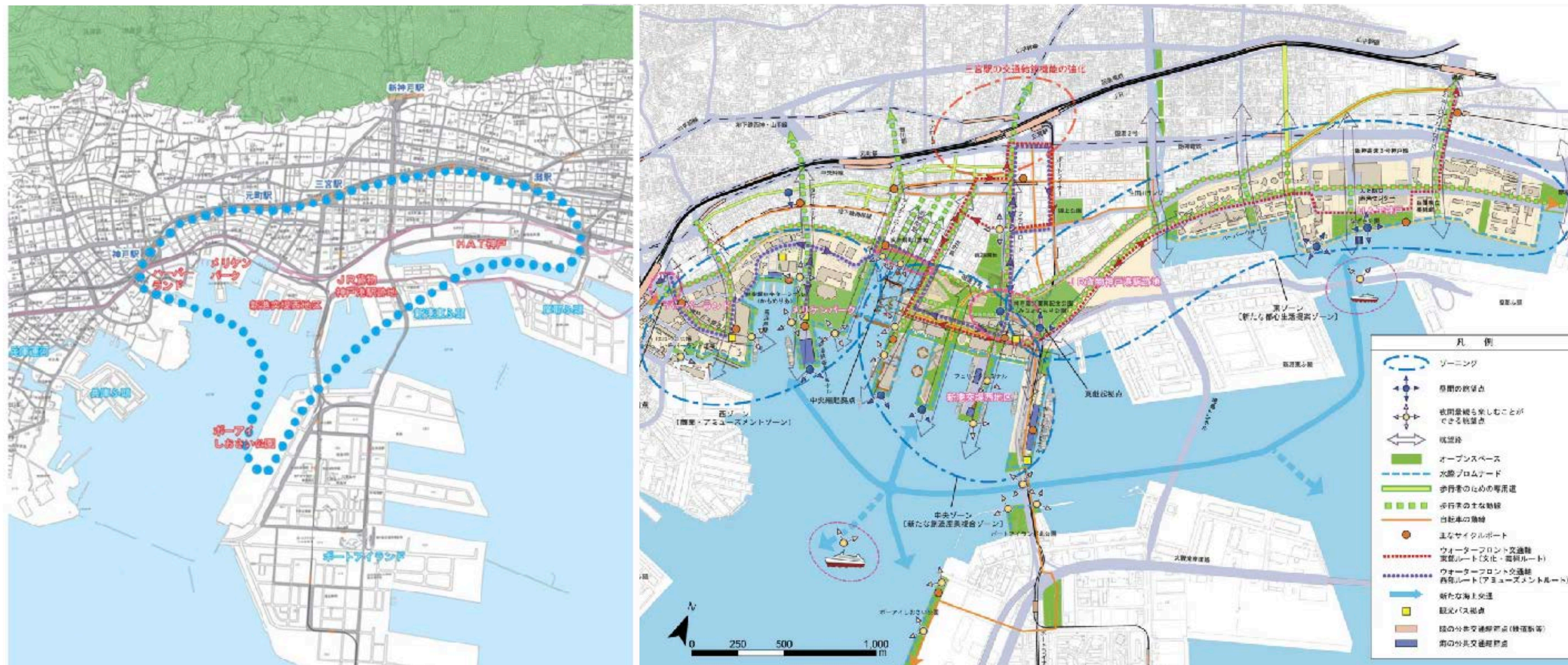
『港都 神戸』 グランドデザイン 都心・ウォーターフロントの構想

港湾局

ウォーターフロント再開発推進課

2011(H23)

PI=しおさい公園のみ



都心の『未来の姿』(将来ビジョン)

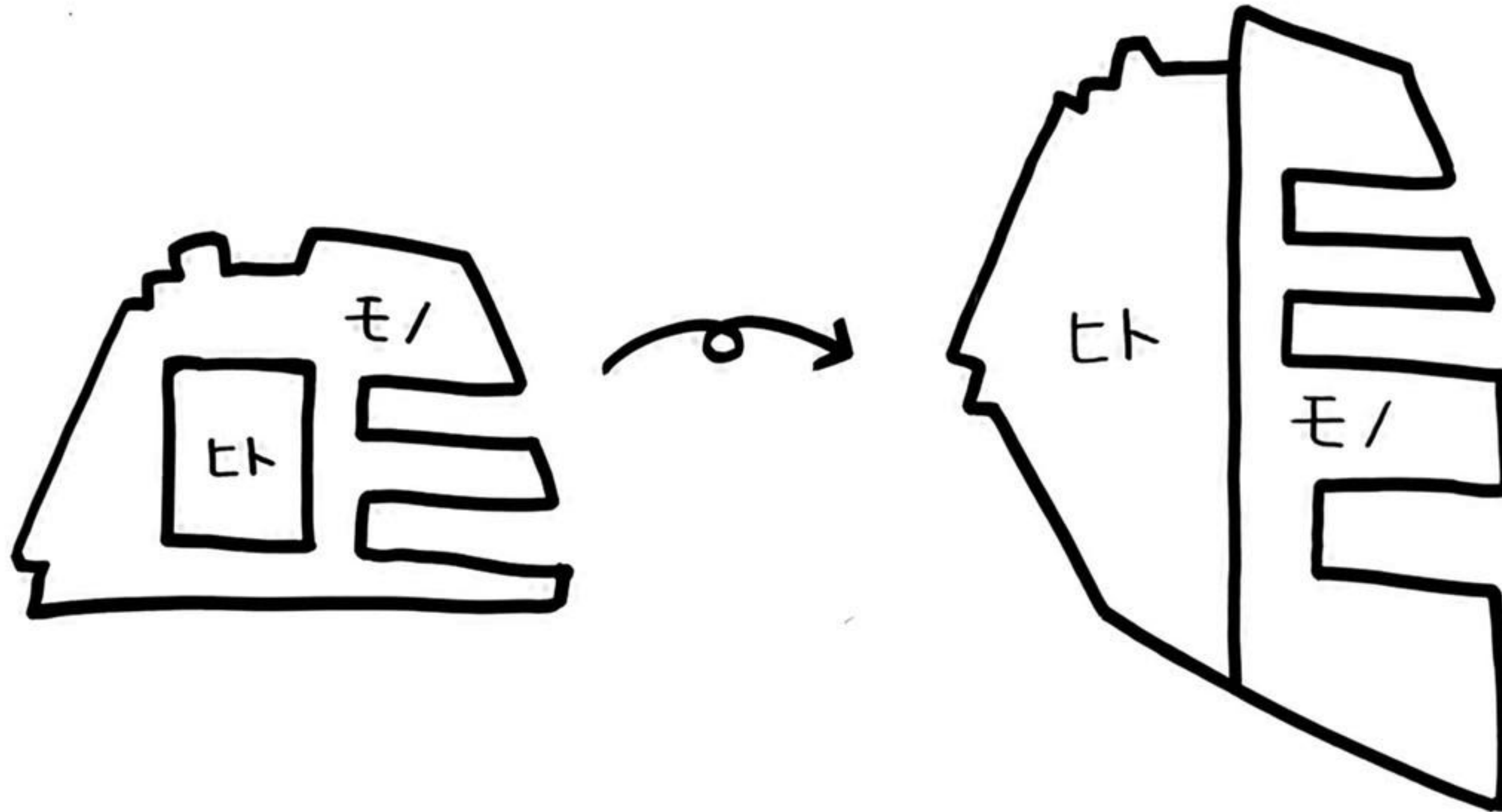
都市局 都心再整備本部都心再整備部都心三宮再整備課 H27・2015

PI=範囲外



この50年で変化した文脈による不適合の例：島の土地利用

1970年代：港湾機能に囲まれた都市機能 将来：西に都市機能+東に港湾機能

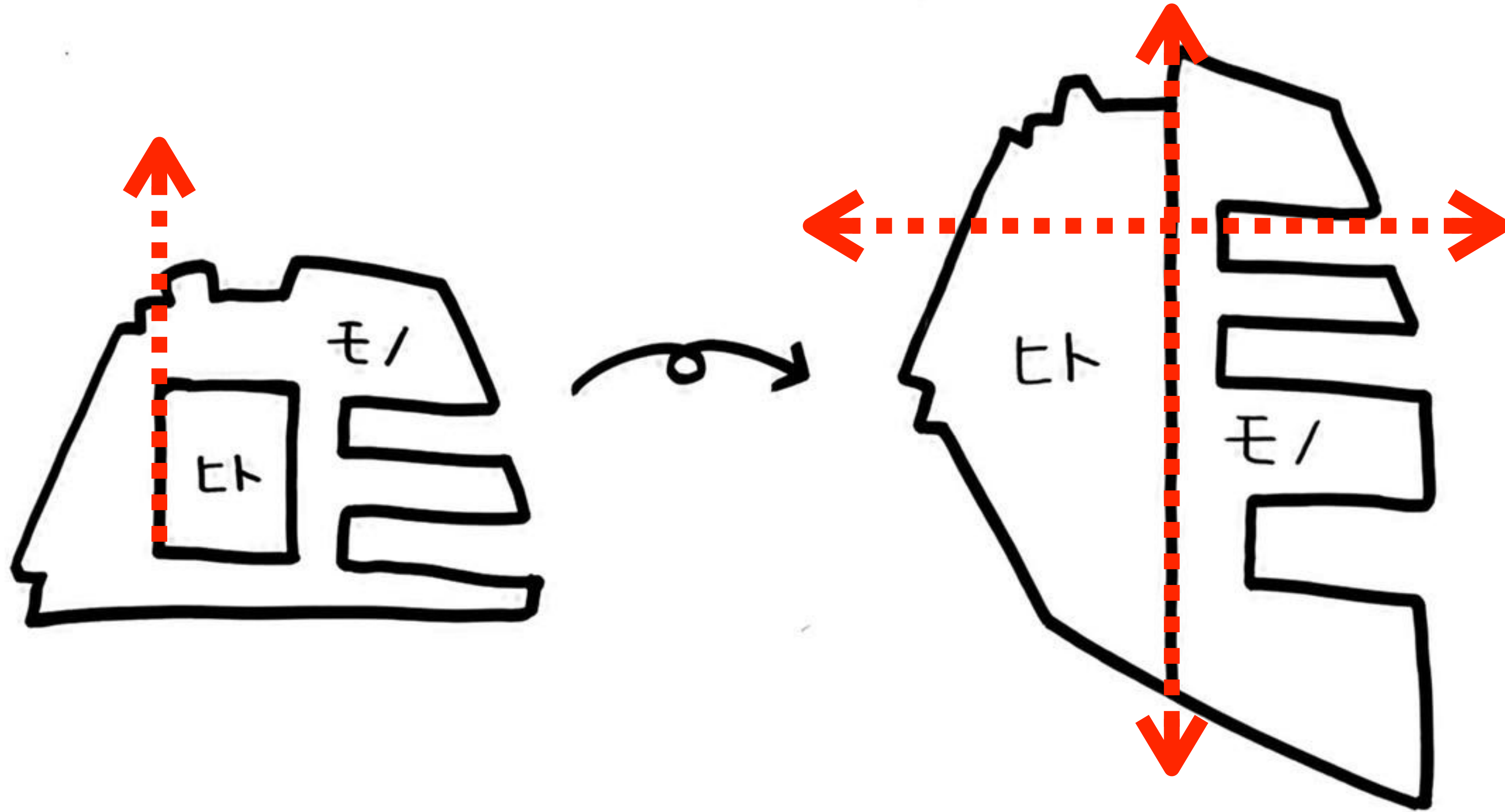


1970年代のイメージ
港湾機能に囲まれた都市機能

将来イメージ
西に都市機能+東に港湾機能

この50年で変化した文脈による不適合の例：交通網との関係

広域化した南北(三宮再整備+神戸空港)軸+東西(大阪湾岸道路)軸の交差点としてのPIへ



1970年代のイメージ

三宮との関係のみ

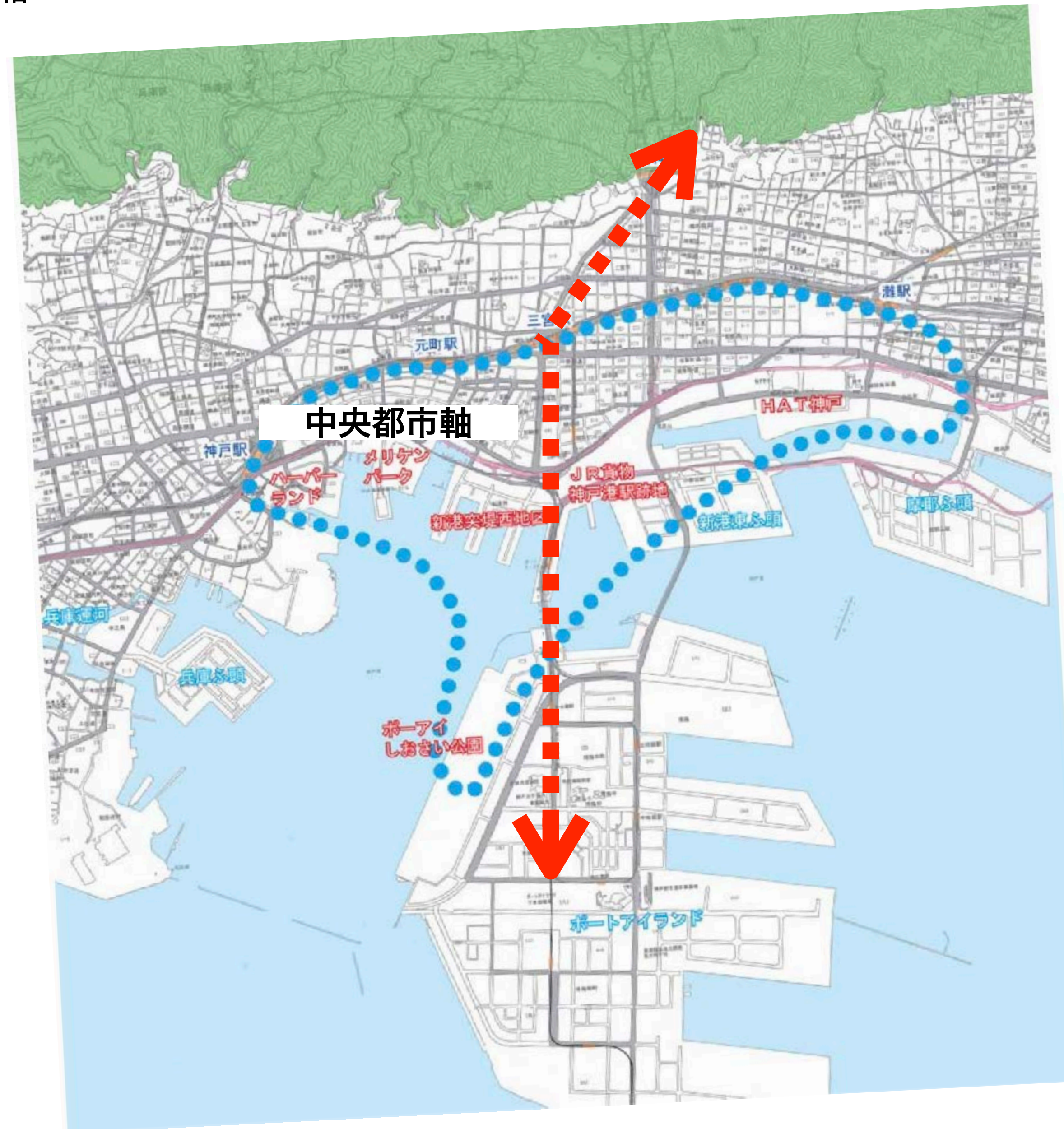
将来イメージ

南北：三宮再整備+神戸空港

東西：大阪湾岸道路

これまでの「中央都市軸」

新神戸と三宮、PIを結ぶ軸



新しい「中央都市軸」のイメージ

北野とPIを結ぶ「ウォーカブル軸」と新神戸駅と神戸空港を結ぶ「広域交通」軸



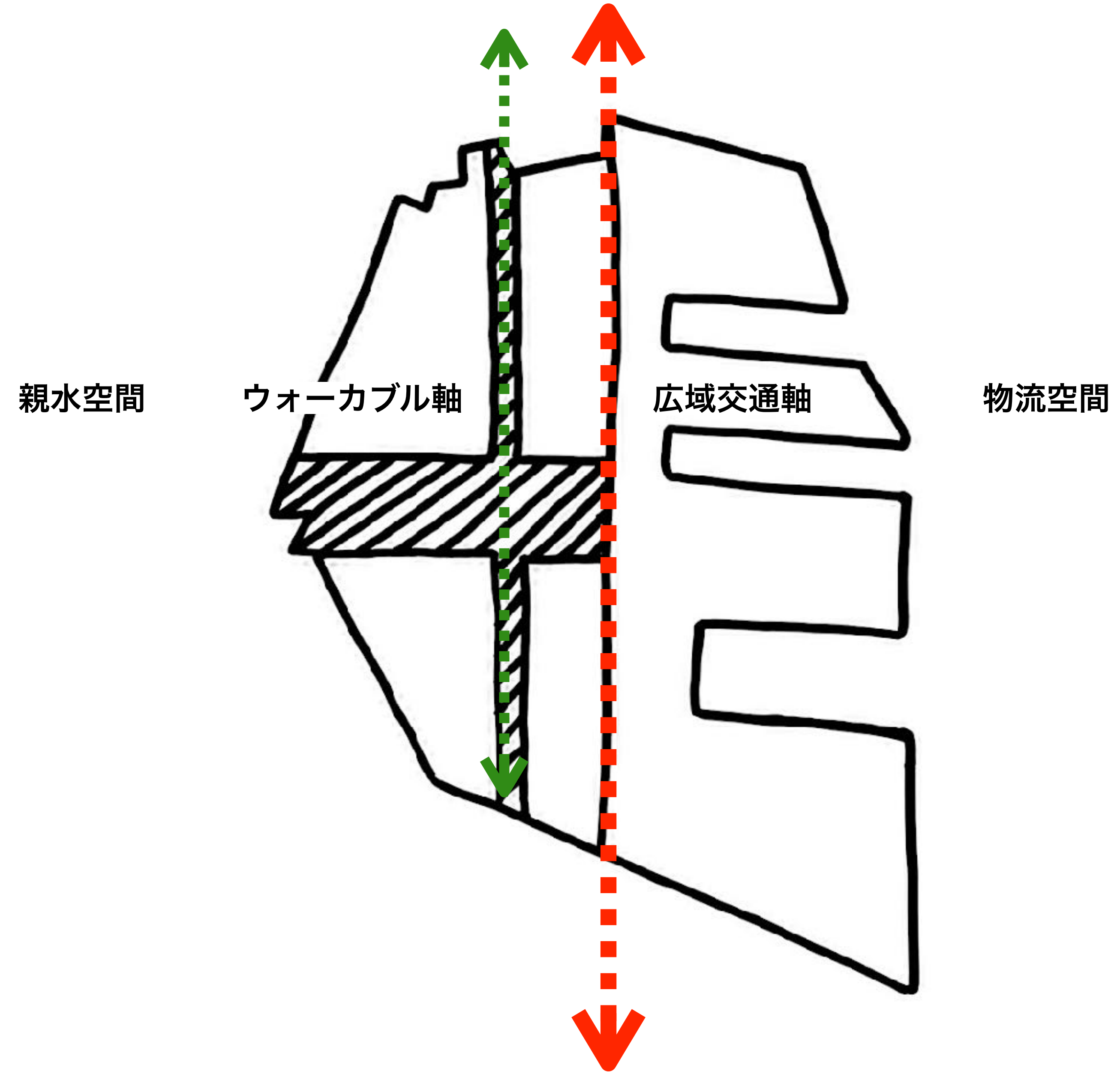
ウォーカブルな「中央都市軸」のイメージ

三宮再整備と「サンキタ広場」



神戸の新しい「中央都市軸」のイメージ

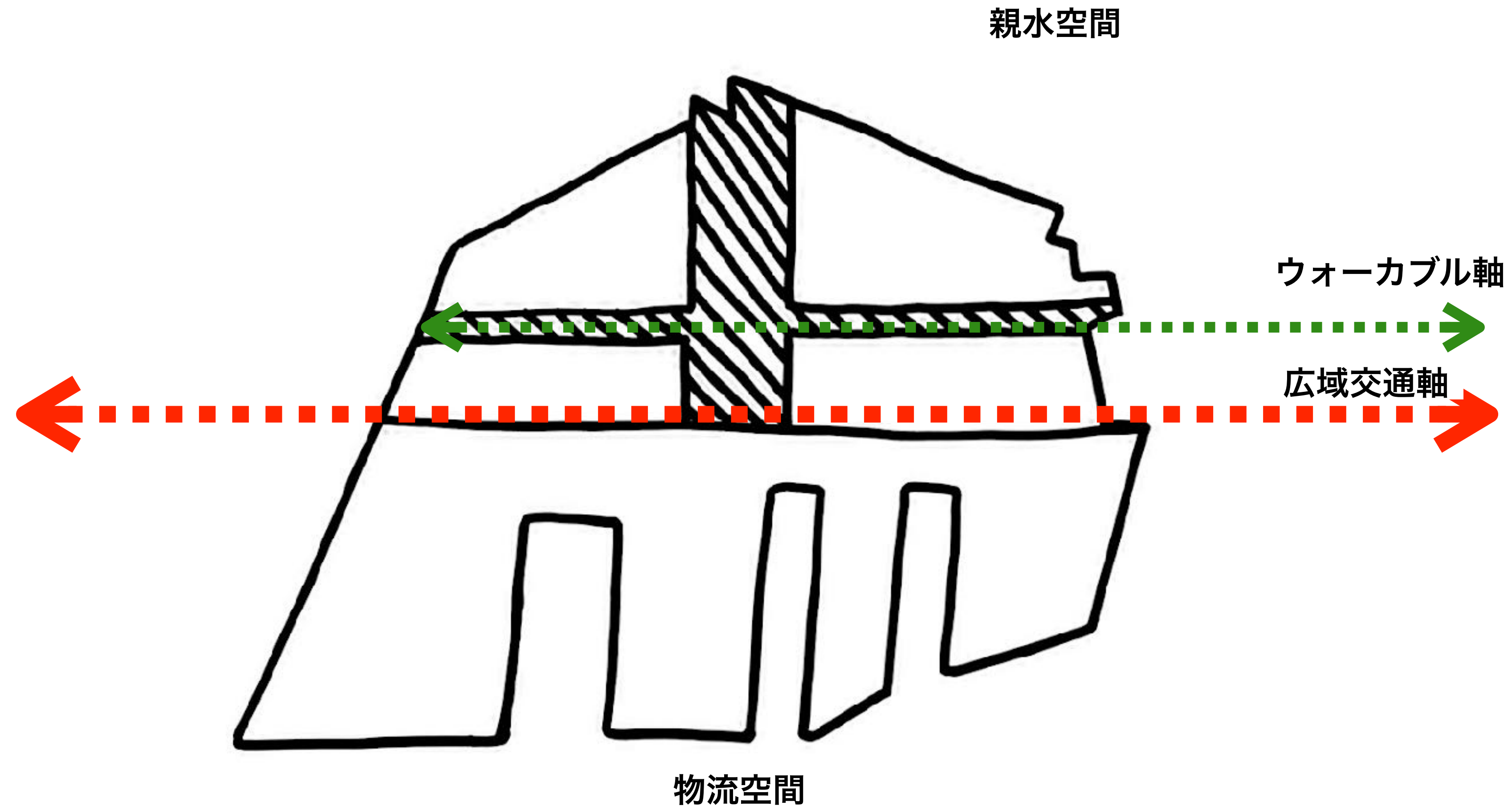
北野とPIを結ぶ「ウォーカブル軸」と新神戸と空港を結ぶ「広域交通」軸



ポートアイランドの土地利用価値を最大化する公有地への再投資戦略軸

「ウォーカブル軸」北公園・中公園・緑道・市民広場・南公園等の公共空間再整備

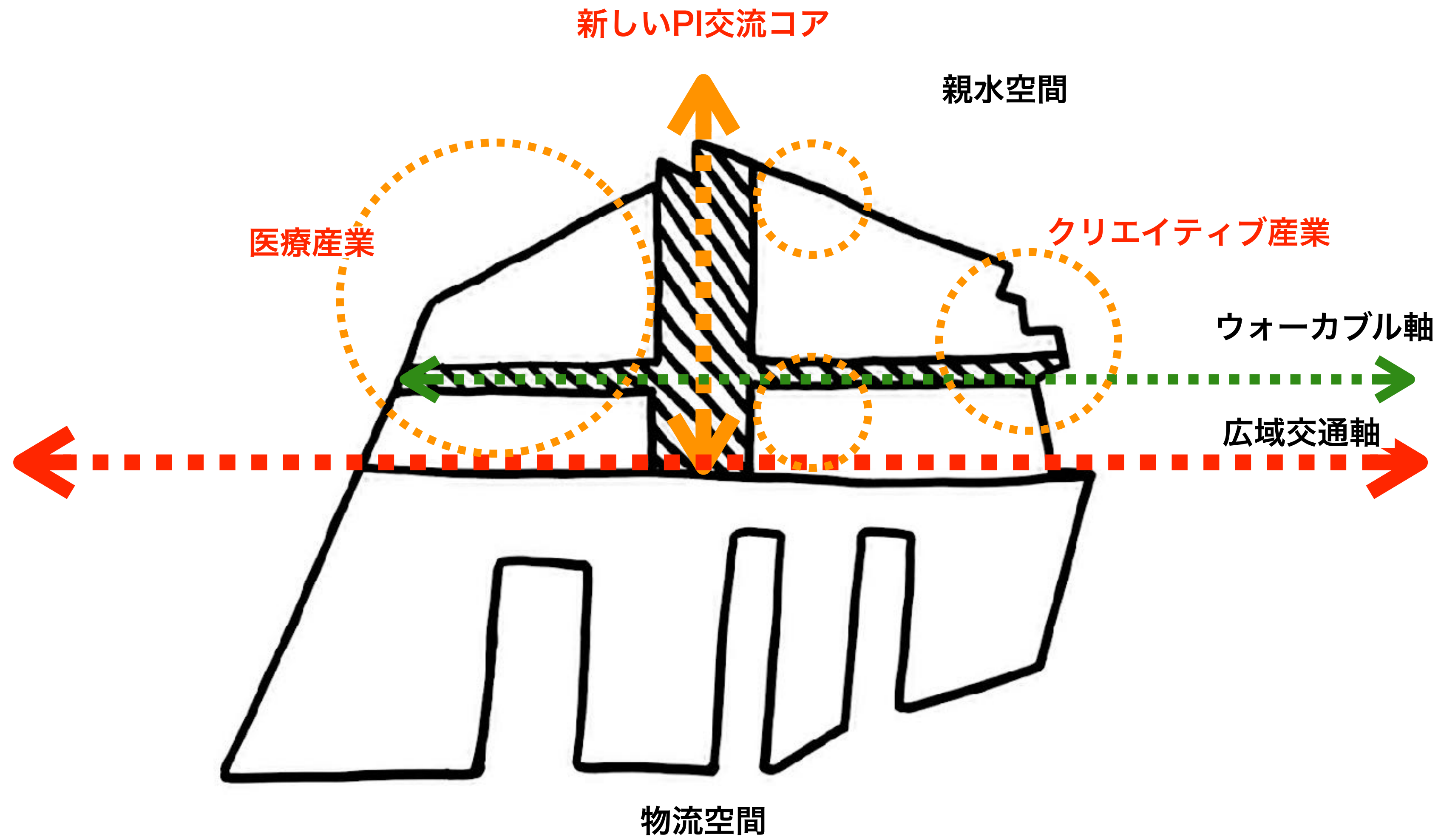
「東西中心軸」国際会議場等の公共施設再整備による都市機能強化



ポートアイランドの土地利用価値を最大化する公有地への再投資戦略軸

「ウォーカブル軸」北公園・中公園・緑道・市民広場・南公園等の公共空間再整備

「東西中心軸」国際会議場等の公共施設再整備による都市機能強化



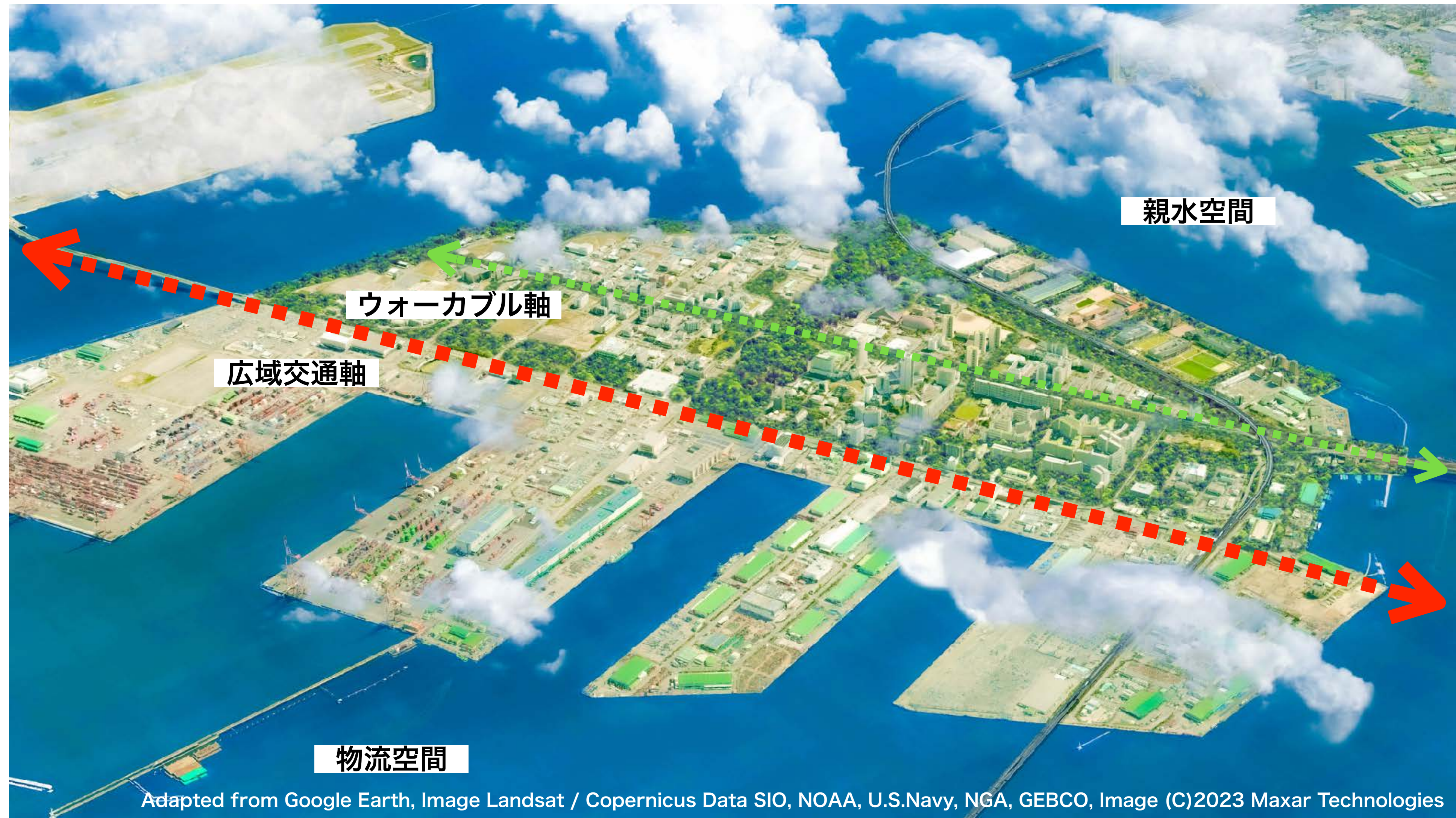
PI再生の具体的なイメージとは

- ・土地利用価値を最大化する**公共空間(公園・緑地・街路等)への再投資**がなされ
- ・国際会議場空港等の**公共施設再整備による都市機能強化**がなされ
- ・医療産業、観光・クリエイティブ産業と連動した**民間不動産投資が活性化**した状態



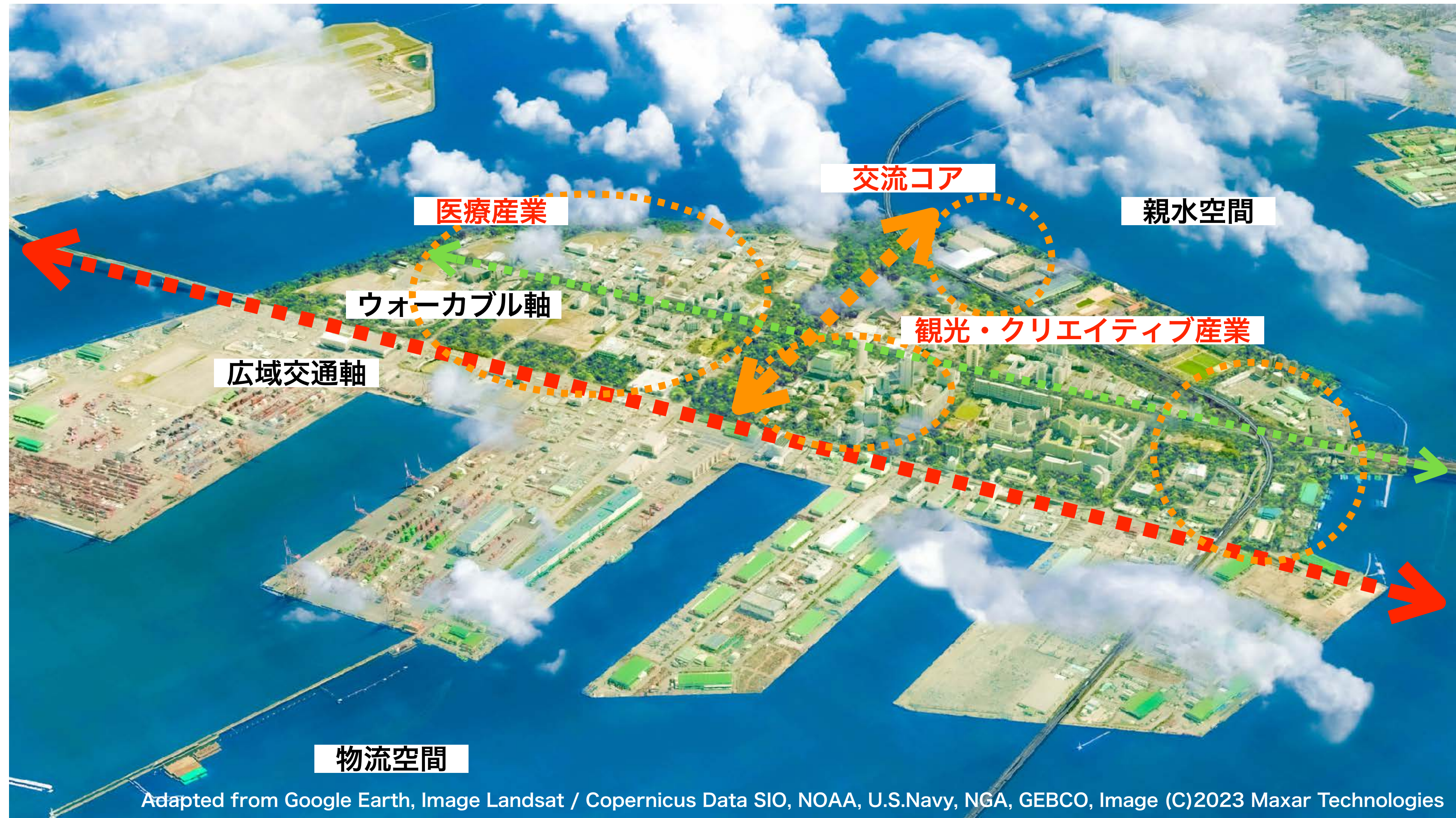
PI再生の具体的なイメージとは

- ・土地利用価値を最大化する公共空間(公園・緑地・街路等)への再投資がなされ
- ・国際会議場空港等の公共施設再整備による都市機能強化がなされ
- ・医療産業、観光・クリエイティブ産業と連動した民間不動産投資が活性化した状態



PI再生の具体的なイメージとは

- ・土地利用価値を最大化する公共空間(公園・緑地・街路等)への再投資がなされ
- ・国際会議場空港等の公共施設再整備による都市機能強化がなされ
- ・医療産業、観光・クリエイティブ産業と連動した民間不動産投資が活性化した状態



3

近過去からみた近未来

神戸港ポートアイランド

現在の姿



中央を自動車の空間(ポートピア大通り)で分断されたまち

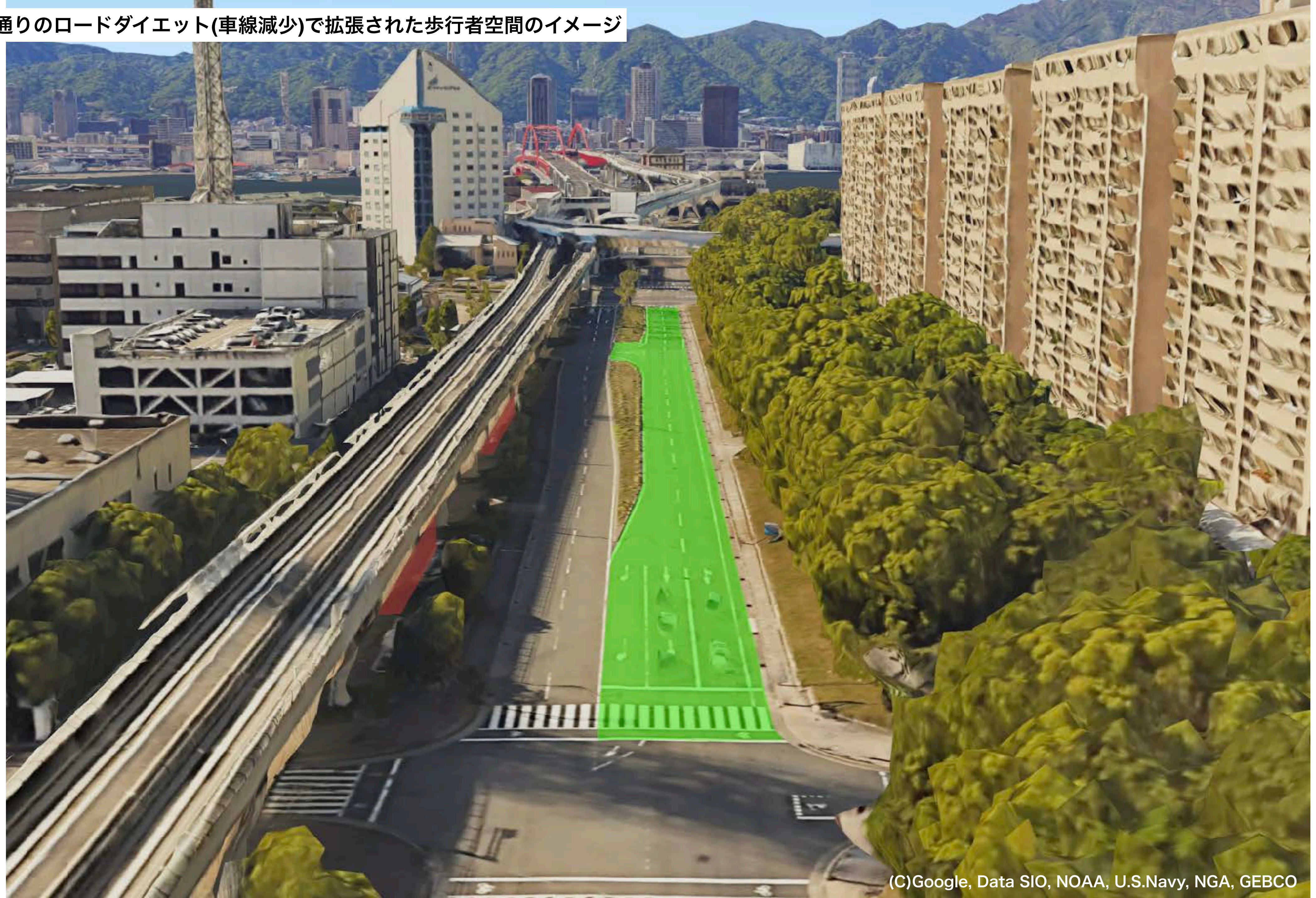


ポートアイランド・中央都市軸 (2期)



六甲ライナー沿いに歩行者空間の広がる六甲アイランド

ポートピア大通りのロードダイエット(車線減少)で拡張された歩行者空間のイメージ



2-1. 短期施策案 2025年頃まで

- ・ R4年度：まちづくりの機運醸成(シンポジウム+展示)
- ・ R5年度：ワークショップによる意見交換
- ・ R6年度：公共空間利活用の社会実験(中央都市軸周辺など)



(C)Google, Data SIO, NOAA, U.S.Navy, NGA, GEBCO



(C)Google, Data SIO, NOAA, U.S.Navy, NGA, GEBCO

中央都市軸を「ウォークブル軸」として再定義するための社会実験イメージ



ポートアイランド・南公園(1期)



ポートアイランド・南公園(2期)

2-2. 中期施策案 2030年頃まで

- ・「ウォークアブル軸」 北公園・中公園・緑道・南公園・西緑地等の**公共空間再整備**
- ・「交流コア」 国際会議場・スポーツセンター等の再整備による**都市機能強化**



Image Landsat / Copernicus Data SIO,NOAA,U.S.Navy,NGA,GEBCO



公共空間再整備

Image Landsat / Copernicus Data SIO,NOAA,U.S.Navy,NGA,GEBCO



Google



都市機能強化

Image Landsat / Copernicus Data SIO,NOAA,U.S.Navy,NGA,GEBCO

公共空間再整備の例：ポートアイランド・南公園に機能とアメニティを付加したイメージ



都市機能強化の例：国際会議場と市民広場に機能とアメニティを付加したイメージ





社会実験を経て道路空間の広場化により民間投資が活性化したNYタイムズスクエア



鉄道線路跡空間への再投資により周辺の民間不動産投資が活性化したNYハイライン

2-3. 長期施策案 2030年頃から2050年頃まで

- ・ 公共空間再整備と土地利用の再編(規制見直し含む)による**民間不動産投資の呼び込み**
 - ・ 公共空間+建築物の積極的な**緑化**による新しい自然風景のイメージ「山、再び海へ」
- 「**ポートアイランド**」から「**パークアイランド**」へ





港湾部の土地利用転換により民間投資が活性化しリニューアルされたNYブルックリン地区



港湾部の土地利用転換により民間投資が活性化しリニューアルされたNYブルックリン地区

2020





2050

みどりに覆われた「中央都市軸」のイメージ

2020



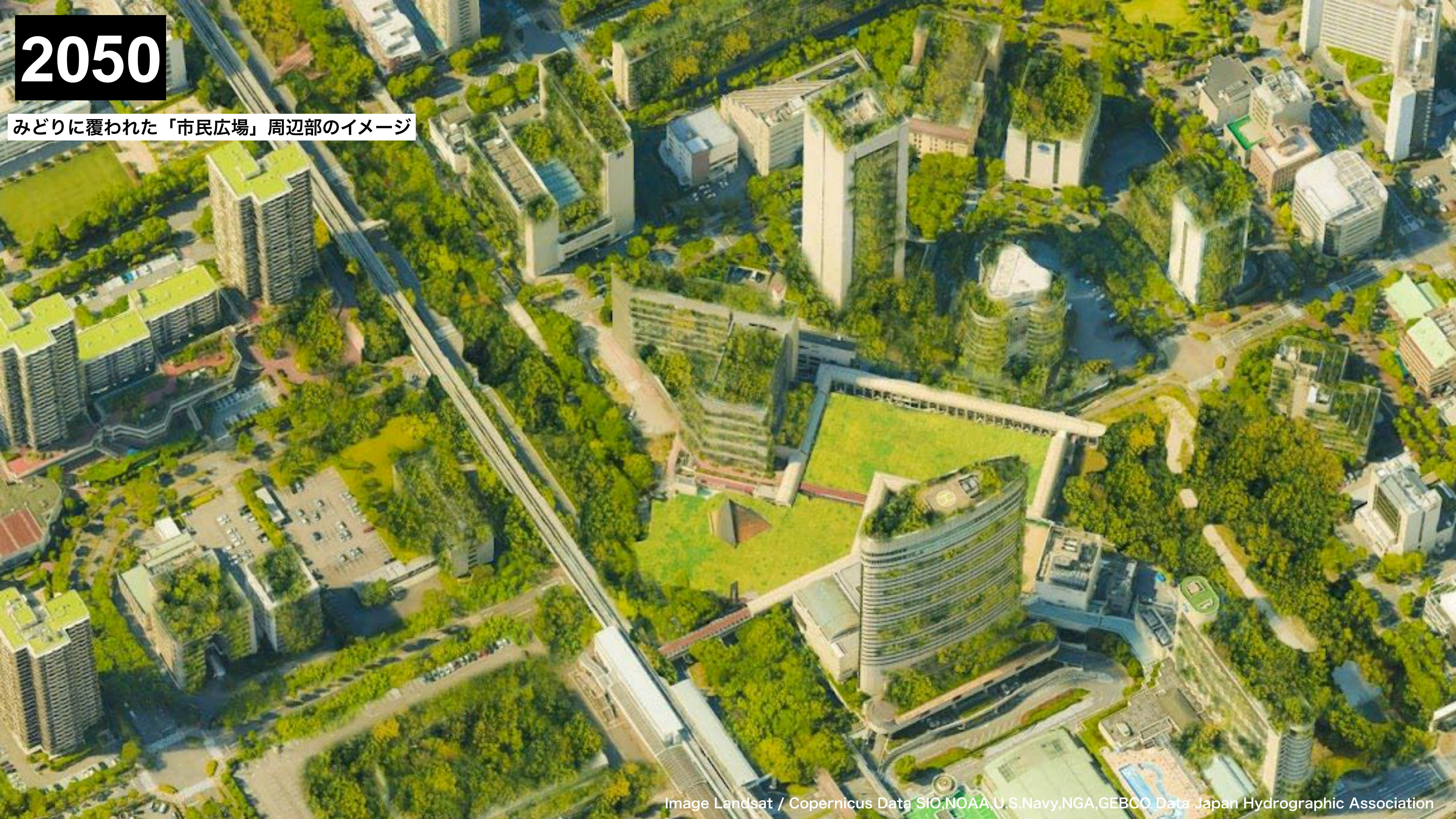
2050

みどりに覆われた「親水空間」沿岸部のイメージ



2020





2050

みどりに覆われた「市民広場」周辺部のイメージ

2020



2050

みどりに覆われた「医療産業都市」のイメージ



山、再び海へ

みどりに覆われた「新しいPI交流コア」のイメージ



4

合意形成と情報発信

新しい課題に対する政策合意形成・ニューヨークの場合

- ・ 政策合意形成の成否が都市経営を左右する(公共再投資やインフラ老朽化対策は利害が対立)
- ・ ブルームバーグNYC市長：**建築の都市政策を伝える力、合意を調達する力**に着目
- ・ **2012五輪招致活動プラン**が人々の都市計画に対する心理的变化を与えた(A. ガーヴィン氏)



マイケル・ブルームバーグ市長(2002-13在任)



アレックス・ガーヴィン氏(都市計画家)

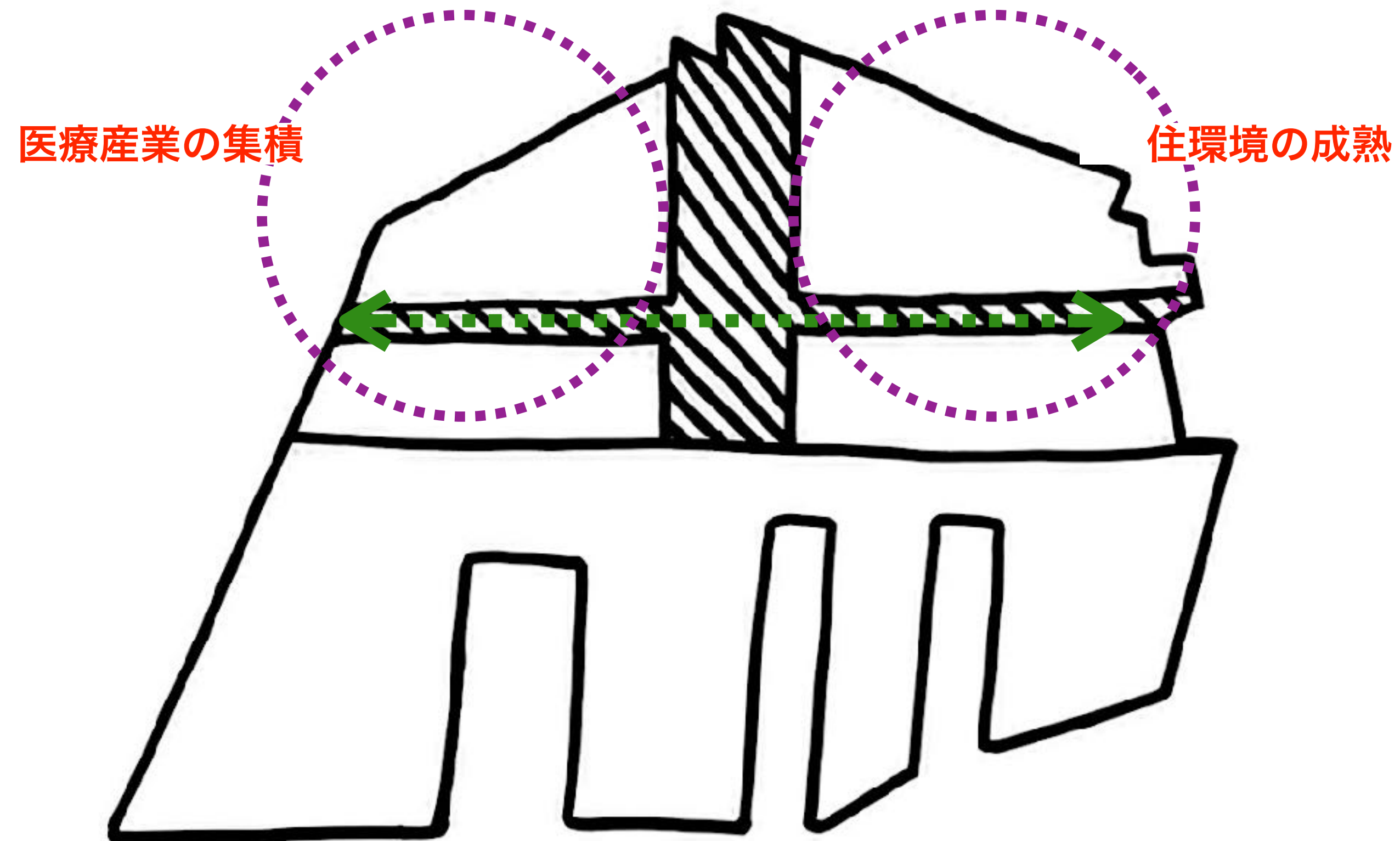


plaNYC(2007)

WE BUILD THE CITY(2014)

ポートアイランドは何をめざすのか

- ・ 1期「住環境の成熟」 + 2期「医療産業の集積」を貫くテーマとは？





An aerial photograph of a coastal city, likely Vancouver, showing a mix of urban development and green spaces. The city is situated on a peninsula with a large body of water to the west and mountains in the background. The word "HEALTHINESS" is overlaid in large, white, sans-serif capital letters across the center of the image. The scene includes a bridge in the foreground, a highway, and various buildings and parks.

HEALTHINESS

4-1. シンポジウム「PIの近未来を近過去から考える」

- ・ R4年度：まちづくりの機運醸成(シンポジウム+展示)
- ・ R5年度：ワークショップによる意見交換
- ・ ポートアイランドが抱える課題と可能性を明らかにし、プランを描く



ワークショップイメージ(愛知県岡崎市での取り組み)

4-2. 公有地活性化の社会実験

- ・ 意見交換を踏まえ、道路・公園などの公有地を**人中心の公共空間**へ転換する試みを行う
- ・ R6年度：公共空間利活用の**社会実験**(中央都市軸周辺など)を検討
- ・ 中央都市軸をウォークブル軸に転換するため**ポートピア大通りの歩行者空間拡大**など



(C)Google, Data SIO, NOAA, U.S.Navy, NGA, GEBCO



(C)Google, Data SIO, NOAA, U.S.Navy, NGA, GEBCO

中央都市軸を「ウォークブル軸」として再定義するための社会実験イメージ

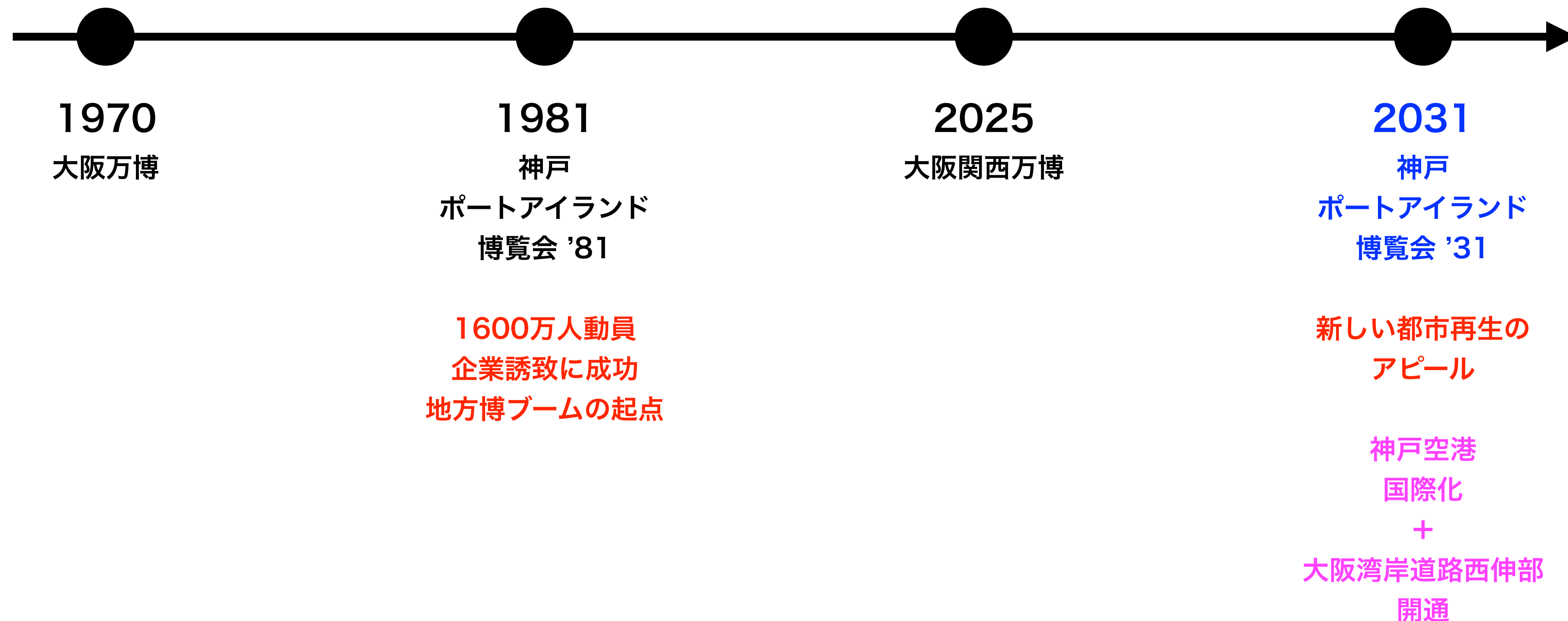
4-3. 「(仮称)神戸ポートアイランド博覧会2031」



公有地を舞台にした新しい博覧会のイメージ

4-3. 「(仮称)神戸ポートアイランド博覧会2031」

- ・民間企業等による投資誘導の機運醸成をめざして2031年頃開催を検討
- ・再整備された公有地を活用した新しい博覧会形式
- ・屋外展示+VRによる廃棄物を最小限にした新しい都市プロモーション手法の発明



4-3. 「(仮称)神戸ポートアイランド博覧会2031」

- ・ 民間企業等による**投資誘導の機運醸成**をめざして2031年頃開催を検討
- ・ 再整備された**公有地**を活用した**新しい博覧会形式**
- ・ 屋外展示+VRによる**廃棄物を最小限にした新しい都市プロモーション手法**の発明



KOBE 1981

神戸ポートアイランド博覧会
「新しい“海の文化都市”の創造」
1600万人来場
企業進出のステップ
ファッションタウン



KOBE 2031

神戸**パーク**アイランド博覧会
「新しい“海の**健康文化**都市”の創造」
来場+オンライン参加
企業進出・移住のステップ
HEALTHINESS TOWN



引用：公益社団法人2050年日本国際博覧会協会



Adapted from Google Earth, Image Landsat / Copernicus Data SIO, NOAA, U.S.Navy, NGA, GEBCO, Image (C)2023 Maxar Technologies

OSAKA 2025

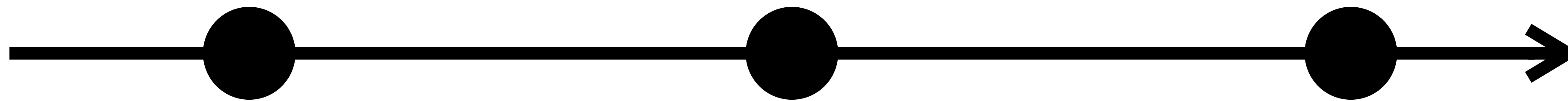
「いのちかがやく未来社会のデザイン」

KOBE 2031

近過去を振り返り、近未来を描く

まちづくり
40年の蓄積
ファッション・医療産業の集積
住民コミュニティ
リノベーション

今後の進め方



シンポジウム
展示

R4年度

WS

意見交換

R5年度

社会実験

内容はWSで決定

R6年度

ポートアイランドの近未来を 近過去から考える

本資料は神戸市より委託を受けた
「ポートアイランドの将来像の検討・共有にかかる機運醸成推進業務」の成果として
制作されました。

2023年3月13日

東京藝術大学 美術学部 藤村研究室
藤村龍至 津川恵理 若尾和真 永井大翔

特記なき写真の著作権者
藤村龍至

特記なきフォトコラージュの著作権者
東京藝術大学藤村研究室